

お年寄りを前に、「桃太郎」の劇に合わせて絵を完成させた演劇部のメンバー



ライブアート

高齢者に披露

北勝館で星槎高
帯広の演劇部

【音更】星槎国際高校帯
広キャンパスの演劇部（柳

澤咲部長、部員9人）が18日、町内の有料老人ホーム北勝館で、演劇に合わせて即興で絵を描く「ライブアート」を行った。6月の創部後、学校行事以外では初のお披露目で、カrippはい

役を演じた。

ライブアートは生徒たちが昨年の学校祭で初めて発表し、好評を得たパフォーマンス。本格的に取り組もうと演劇部を立ち上げ、部員を募った。

今回は、学校祭を見て感動した観客の仲立ちで実現した。柳澤部長、北川澄昇

さん、北山紗智乃さん（以上3年）、八代有記さん（2年）の部員4人が、オリジナルストーリーの「桃太郎」を演じた。

部員たちはユーモアたっぷりの鬼退治の寸劇に合わせて、大きな板に桃太郎や鬼などを手際よく描いた。懐かしい物語の絵が完成すると、施設のお年寄りから大きな拍手が送られた。

柳澤部長は「絵と演劇を合わせ、幅広く興味を持ってもらえるのがライブアートの素晴らしい」と話した。（山岡瑠美子）